



専攻英語IV講読 [3] – G1

火曜2限・学部・4.0単位

中嶋 圭介

2011年11月15日
神戸外大・203教室

今日の議論のトピック

1. 個人か政府か？

情報は個人管理が望ましいか、政府などによる一元管理が望ましいか。個人では安全性確保に限界がある一方で、一元管理には万が一の場合、被害が甚大になる可能性がある。個人管理が望ましいのであれば、サイバー攻撃に危機感を持って向き合うにはどのような対策が必要か。(浦・井筒・中村)

2. 日本政府の対応

サイバー攻撃への対策が日本で遅れている原因は何か。今後、第一にしなければならぬ事は何か。(杉浦・中村)

3. 国際協調

世界各国でサイバー攻撃対策に関する意見は異なり協力をためらっている状態だが、協調を進めるならその反対国をどのように説得すべきか。反対の意見であれば、協力賛成国をどのように説得すべきか。(杉浦・井筒)

4. サイバー攻撃の定義

何ををもって悪意あるサイバー攻撃と判断するか。悪意ある攻撃に対する反撃、罰則とは？(浦)

5. ハッカーの育成

ハッカーを育てる学校は、優秀なハッカーが増えることでサイバー戦争を防ぐ知識だけでなく、それを引き起こす者も育ててしまうのでは？(中村)